

IllustratorでWebデザインをするときの注意事項

- 単位をピクセル(px)に揃える。
- 1ピクセルにガイドを吸着させる。
- オブジェクトのサイズに小数点を使用しない。
- 「1pxの線」は0.25pxの線を4つ重ねる
- 慣れたら線はなるべく使用しない。線は仕上げる前にアウトラインや塗りに変換する。

■【制作前】環境設定

- 1.[編集]>[環境設定]>[一般]をクリックする。
- 2.【一般】より、キー入力「1px」に設定する。
- 3.【単位・表示パフォーマンス】より、一般／線／文字／日本語オプションの単位をすべて「ピクセル」に設定する。
- 4.【ガイドグリッド】より、グリッド「10px」、分割数「10」に設定する。
- 5.以上の設定が完了したら[OK]をクリックする。

■【作業前】新規作成

- 1.[ファイル]>[新規]をクリックする。
- 2.新規ドキュメントのプロファイルを「Web」に設定する。
- 3.幅、高さは任意のピクセル値を設定する。
- 4.カラーモードは必ず「RGB」となっていることを確認する。

■【作業前】

- 1.[表示]>[ピクセルプレビュー]をクリックする。
- 2.[表示]>[定規を表示]をクリックする。
- 3.[表示]>[ピクセルにスナップ]をクリックする。

1. ベクターデータで作成する

ロゴは様々な大きさで使用する前提で作るものであるため、aiなどのベクターデータで作成し、拡大縮小しても見栄えが変わらない様に作る。

2. 3種以上のフォントは使わない

3つ以上使うと読みづらくなり一貫性も損なわれる。反対に、1種類ではなく、2種類使ってメリハリをつけると絞まったロゴになる場合が多い。

3. 文字を崩すときも読めるように保つ

読めなくてはロゴの意味がない。そのままでも格好悪いので崩しは必要だが、崩しながらもきちんと読めるレベルを保つこと。

4. 様々な大きさでチェックする

ロゴは様々な大きさで使用する可能性がある。様々な大きさで出力してテストする。小さくした場合は線がつぶれていないかなど細かくチェックする。

5. 黒や青などの白以外の背景でもチェック

Illustratorでは、白背景で作ることが多い。黒いTシャツや青いシートなどに印刷しても良いように、白以外でもチェックすること。現場では1つのロゴに白背景用と黒背景用の2種類を用意することが多い。

6. モノクロデータに変換してチェック

カラーでは彩度と色相の関係で気付かない事が多いが、雑誌の白黒ページなどに掲載される事も想定し、モノクロに変換して読みやすさを検討する。

7. ロゴに写真を使用しない

拡大・縮小するときを考えて、写真の使用は控える。aiの複雑過ぎるパターンデータも同様。

8. ロゴを横や逆さにしてチェック

ロゴが完成に近づいたら90度、や180度、左右反転など多角的にチェックする。気づかなかった余白やバランスが新たな視点から検証できる。油絵などのデッサンでは鏡に映してチェックする方法がある。

9. トrendに流されないデザイン

一時の流行に流されると、どれも同じデザインに近くなり、個性が無くなる。しかも、その流行が終わったときにロゴの寿命もきてしまう。長く普遍的なものを目指したい。

10. 他人に感想を聞くときは具体的に聞く

完成したロゴを他人に見せて、「どう思う?」と聞くよりも、「これ、何の会社のマークだと思う?」など、具体的に聞いてみたほうがいい。